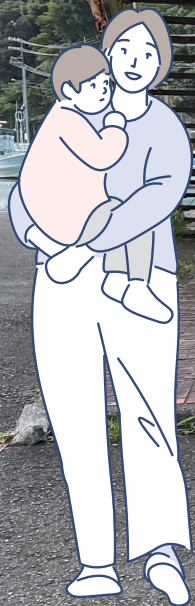


子連れにも
優しい!



太地町 自動運転 REPORT

Vol.5



移動が楽になって
助かるわ!

目次

- P.2 自動運転の概要(利用者数の推移、ルート)
- P.3 インタビュー
- P.4 太地町の自動運転を支える補助員の一日
- P.5 太地町の自動運転を支える補助員の声



サービス概要

太地町の自動運転サービスは、令和4年11月の社会実装から3年を迎え、地域の移動を支える欠かせない存在となりました。

導入当初は実証実験として1台での運行からスタートしましたが、現在では4台体制となり、大東・暖海エリアを中心に運行しています。買い物や通院、地域交流など日常の外出機会が増加し、特に高齢者から「外に出るきっかけが増えた」「安心して暮らせるようになった」といった声が多く寄せられています。

また、狭い道路を安全にゆっくり走行する車両の特性を活かし、住民に寄り添う移動サービスとして定着しています。

本号では、事業開始から3年の実感を伺ったインタビューと、地域の足を支える運転手の一日に迫ります。



history

R4.8 ● 実証実験開始

車両が2台に

R4.11 ● 大東ルート社会実装開始

R5.3 ● バスロケーションシステム導入

R5.9 ● 道の駅「たいじ」～JR太地駅を結ぶ自動運転サービス地域実装協議会設立

R5.10 累計1万人突破

R6.4 ● エリア拡大
暖海ルート運行開始

車両が4台に

R6.5 1日の利用者が1,000人突破

R7.2 ● 自動運転カートの接近状況を提供する実証実験

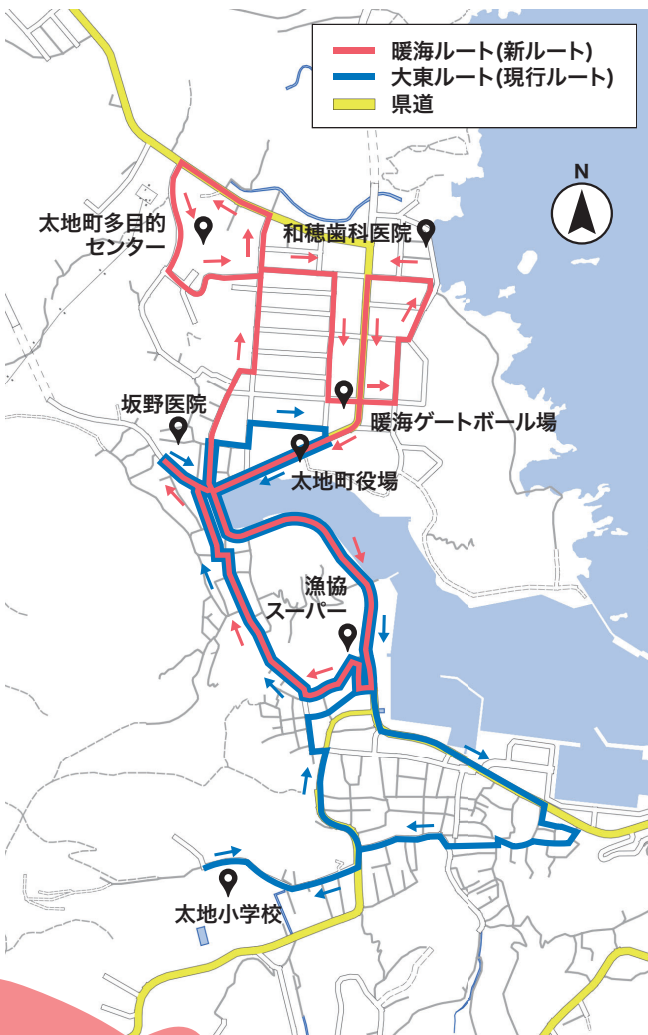
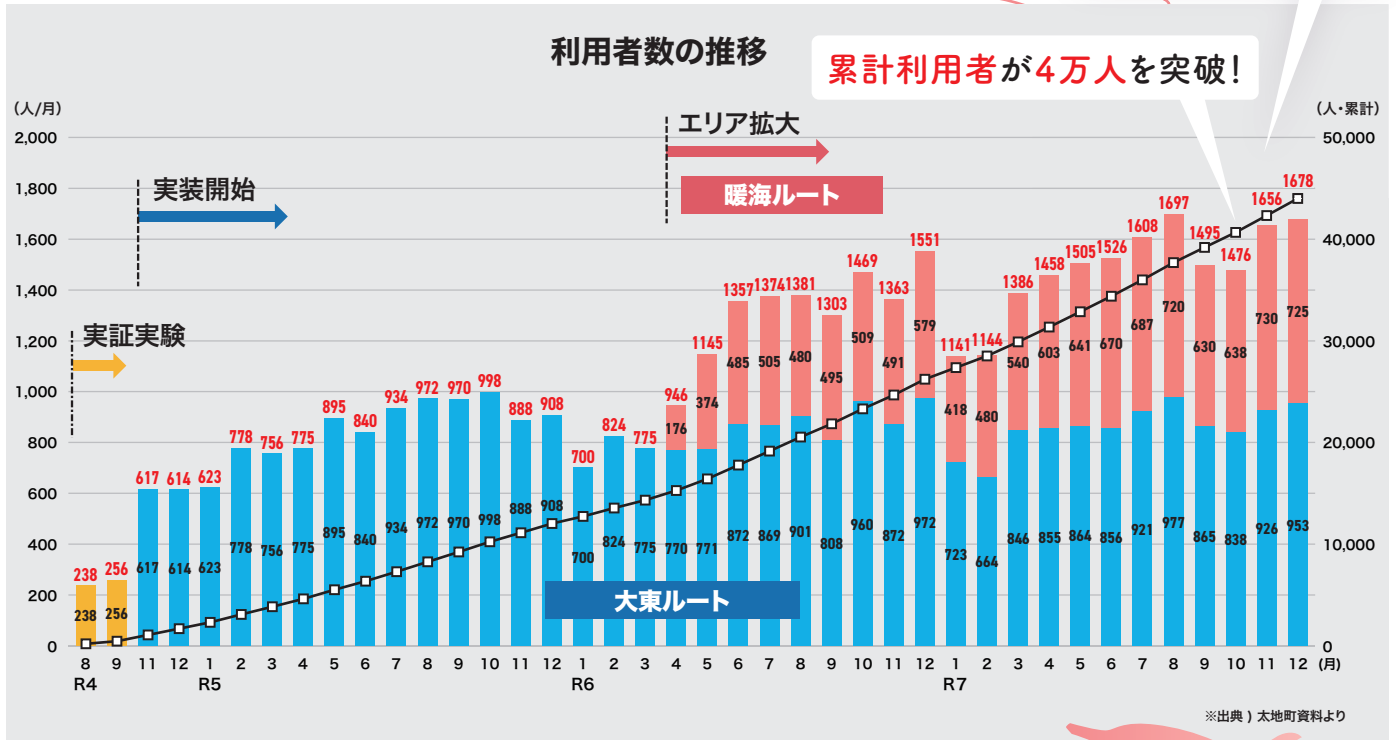
R7.4 累計3万人突破

R7.11 ● 実装開始から3年経過

R7.10 累計4万人突破

利用状況

開始から3年経過



INTERVIEW

太地町役場 総務課 副主幹

和田 正希

地域のつながりを支える

「地域のサロン」として機能

自動運転サービスの
実装から3年が経過し、
自動運転バスはまちの
暮らしの中に着実に定
着してきたと感じてい
ます。以前からの利用者
に加え、新たに利用され
る方の姿も見かけるよ
うになり、少しずつ利用
の輪が広がってきました。

温泉や歩行プール（太
地町多目的センター）へ
の外出など、住民の方の
行動範囲が広がっている
ことを実感しています。
また、急な外出が必要に
なった際にも自然に利
用されている様子を見
ると、日常の移動手段と
して根づいてきたと感
じます。

さらに、花火大会や
お盆、正月などには、住
民以外の方が利用して
いる様子も見受けられ
ます。地域内の移動にと
どまらず、来訪者の足
としても役割を果たし
ていることを実感してい
ます。

もともと、地域のサロ
ンのような存在を目指
して実装を開始しまし
たが、令和6年度のウェ
ルビーイング調査では太
地町の地域満足度が高
い結果となりました。自
動運転サービスがその一
助となり、地域のつなが
りを支える、地域のサロ
ン、として機能している
ことを嬉しく思っていま
す。

周囲の方の意見

住民の方からは、「循
環バスでは入れなかった
家の前の細い道まで来
てくれるので助かってい
る」といった声を多くい
ただいています。身近な
場所まで来てくれるこ
とが、日々の安心感につ
ながっているようです。

「このサービスがある
から楽になった」という
率直な声もあり、移動
手段が確保されたこと
で生活の負担が軽減さ
れている様子がうかが
えます。高齢者の方から
は、「スーパーで商品を自
分の目で見て選べるよ
うになった」という声も

あり、移動の確保が買い
物の満足度向上にもつ
ながっています。

また、漁協スーパーか
らも「来店のきっかけに
なっており、ありがたい」
との声が寄せられてお
り、地域の商業活動への
波及効果も感じられま
す。



補助員の1日

7:40

今日も元気に出勤!

アルコールチェック
車両の日常点検
通信用のレシーバを用意
乗車記入表の準備・入力



高齢者の方の日々のおでかけのお手伝いができ、感謝してもらえることが嬉しいです。

8:20

出発!

大東ルート

暖海ルート



12:00

午前の運行終了!
車両を車庫に移動

車両充電中...

お昼ごはん
休憩

お昼ごはん
休憩



14:20

午後も張り切って
元気に出発!



17:15

車両を車庫に移動

乗車記録表に乗車人数や
バッテリーの残量を記録
車両の掃除・消毒・充電

役場に移動

アルコールチェック

帰宅

17:40

お疲れ様!



補助員のやりがい・地域への意識の変化

高齢者が喜んでいたり、
買い物に行けない人の役に
立っていることです。

利用者(高齢者や町民)
に喜んでもらうことです。

介護職の経験があり、地域
の介護的な要素が強いこの
仕事が好きです。

乗客と地元である太地町の
話題や昔話で盛り上がるこ
とができるようになりました。

利用者に顔と名前を覚え
てもらい、日常的な会話が
できるようになりました。

補助員を始めて、より多くの
町民に声をかけてもらえる
ようになりました。

関連サイト・SNS

もっと詳しい情報を
知りたい方はこちらから！



▶ 国土交通省 近畿地方整備局
和歌山県太地町
自動運転サービス

自動運転の最新情報を
公式Xでチェック！



▶ MX太地町自動運転サービス
公式X

自動運転の最新情報を
Instagramでチェック！



▶ MX太地町自動運転サービス
公式Instagram